

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 担い手先への訪問基盤の強化

JA名 JA松山市 (愛媛県)

1 動機 (経緯)	近年、六次産業化が注目され始め他金融機関等による農業分野への参入が強まる中、担い手（認定農業者・農事組合法人等）との信頼関係を深めるため、昨年に引き続き営農担当者と連携を図り担い手先への積極的な訪問活動による情報収集・相談機能の強化に努めました。
2 概要	当組合では、208先の担い手農家を選定し、継続的な訪問活動による情報収集・相談機能の強化を展開しております。その中で、資金のニーズや相談に対して迅速に対応できるように、金融担当者と営農担当者が連携し、情報の共有化に努めております。
3 成果 (効果)	このような取組を行った結果、24年度は農業施設資金や制度資金、短期運転資金など28件、金額においては8,100万円の新規実行を行うことが出来ました。
4 今後の 予定(課題)	今後も、更なる担い手（認定農業者・農事組合法人等）との信頼関係を深めるために、同行訪問・情報交換など営農部門と金融部門の連携を引き続き強化し、資金ニーズに対して迅速に対応できるよう努めていきたいと思っております。